

平成31年4月26日(金) 五十里ダム・川治ダムで  
点検放流を実施しました。

ダムの点検放流は、放流設備の機能維持と確実な防災操作が行えるよう、実際に放流することにより、機能の確認を実施するものです。

点検の結果、正常な状態であることを確認しました。

また、当日は雨で寒い天気でしたが、多数の来訪者があり、洪水のときにしか見ることができない常用放流設備(コンジットゲート)・非常用放流設備(クレストゲート)からの放流を見学いただきました。

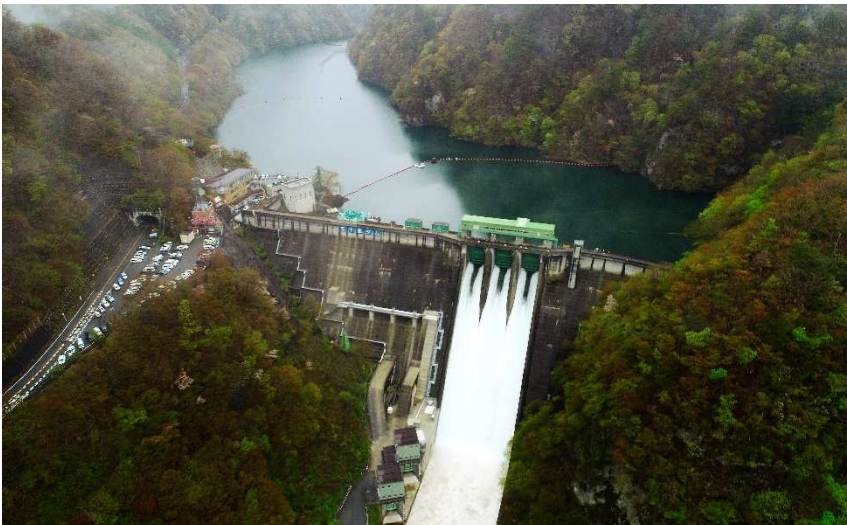
(見学者 川治ダム 約150名、五十里ダム 約150名)

●川治ダム 10:30~11:30 (30分程度)

常用放流設備(コンジットゲート)からの点検放流 (2門 約20m<sup>3</sup>/s)

●五十里ダム 13:30~14:30 (30分程度)

非常用放流設備(クレストゲート)からの点検放流 (3門 約80m<sup>3</sup>/s)



五十里ダム



川治ダム

## 川治ダム放流の様子



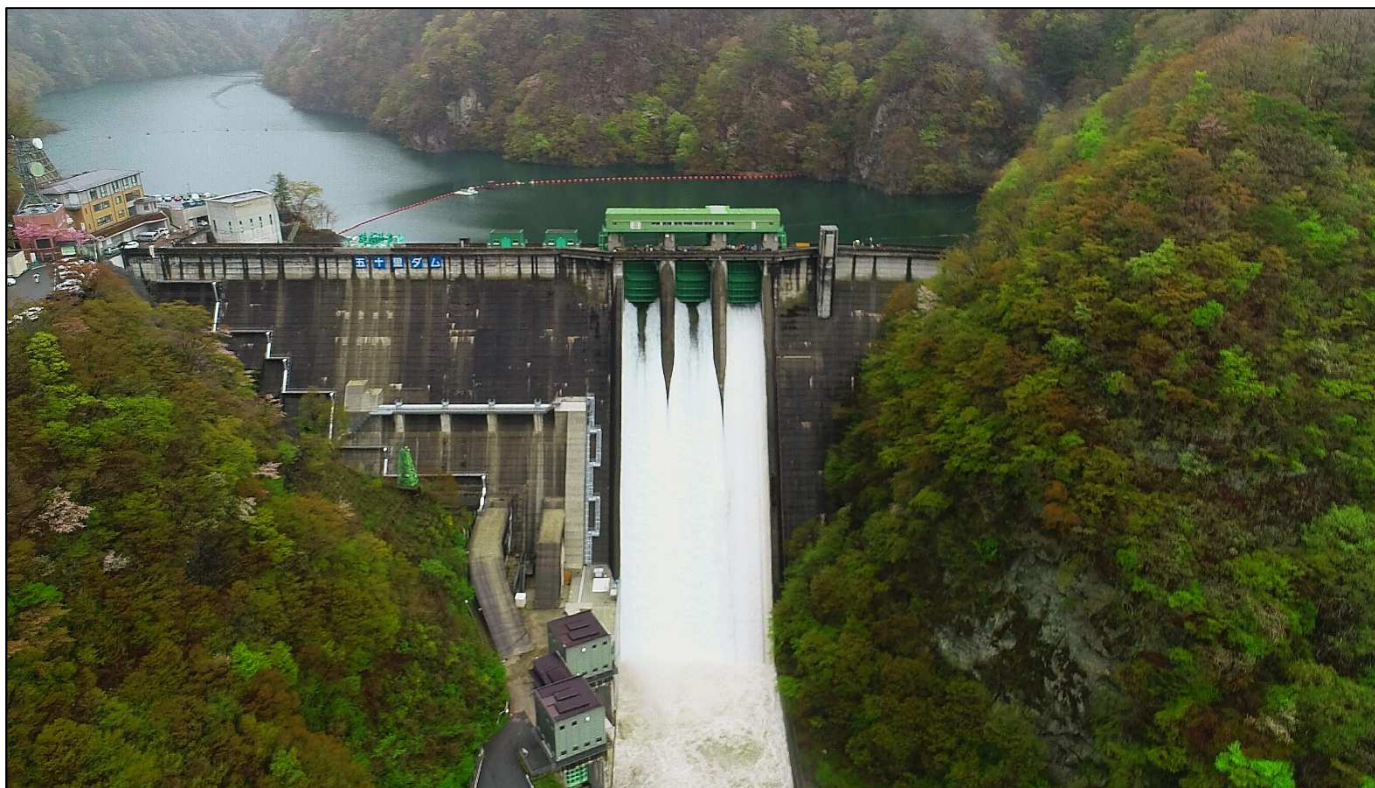
常用放流設備(コンジットゲート)からの点検放流



約150名の見学者が訪れました。(川治ダム駐車場付近)

※ 川治ダムでは、非常用洪水吐(クレストゲート)からの放流を予定していましたが、春先からの少雨の影響で下流に用水を補給したため貯水位が下がってしまい、常用洪水吐からの放流に変更しました。

## 五十里ダム放流の様子



非常用放流設備(クレストゲート)からの点検放流



約150名の見学者が訪れました。(五十里ダム展望台駐車場付近)